

第 1 章 調査概要

1. 調査の目的

「子ども・子育てビジョン」（平成 22 年 1 月閣議決定）に基づき、関連施策については、定期的に進捗状況を子どもや子育て家庭の視点に立った点検・評価するとされている。

また、「子ども・子育てビジョン」では、平成 26 年度までの 5 年間を目途として数値目標を設定しており、今後に向けた施策の効果的推進を図るためには、取組状況等に関する国民の評価や意識を把握することが重要である。このため、施策の進捗状況の点検・評価のためのインターネット調査を実施した。

2. 調査対象

20 歳～59 歳のインターネット登録モニター10,000 人。

3. 調査方法

アンケート調査は、インターネットの登録モニターに対するアンケート方式で実施した。

- i. 性別：男女 2 区分
- ii. 年代別：20 歳～59 歳（20 歳～24 歳、25 歳～29 歳、30 歳～34 歳、35 歳～39 歳、40 歳～44 歳、45 歳～49 歳、50 歳～54 歳、55 歳～59 歳の各 5 歳の範囲の 8 区分）
- iii. 家族構成別：3 区分
 - 「未婚・子どもなし」
 - 「既婚・子どもあり」
 - 「既婚・子どもなし」※離死別については既婚に含む
- iv. 地域別：三大都市圏、三大都市外 2 区分
 - 三大都市圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県。
 - 三大都市外：前記以外の道県

4. 調査実施期間

平成 24 年 10 月 12 日(金)から平成 24 年 11 月 15 日(木)

5. アンケート調査の配信数、回収数、回収率

配信数：155,994 サンプル

総回収数：28,859 サンプル

回収率：18.5%

確定サンプル数：10,000 サンプル ※総回収 28,859 サンプルから日本の国民全体の構成比に近似するように無作為で抽出。

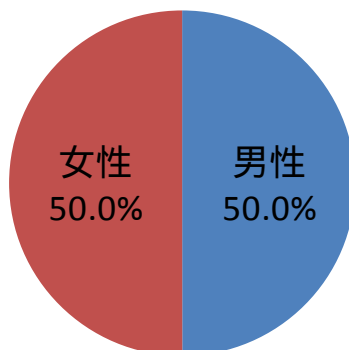
	全体	三大都市圏			三大都市外			
		未婚	既婚(子なし)	既婚(子あり)	未婚	既婚(子なし)	既婚(子あり)	
全体	10,000	1,592	797	2,722	1,522	763	2,604	
男性	20～24歳	495	227	9	17	217	9	16
	25～29歳	562	184	39	64	176	38	61
	30～34歳	642	131	54	143	126	51	137
	35～39歳	753	111	49	225	106	47	215
	40～44歳	673	78	35	231	74	34	221
	45～49歳	618	54	35	227	52	33	217
	50～54歳	589	39	57	205	38	54	196
	55～59歳	667	35	105	200	34	101	192
女性	20～24歳	489	220	11	19	210	10	19
	25～29歳	559	168	45	73	161	43	69
	30～34歳	638	110	59	157	106	56	150
	35～39歳	749	87	53	243	83	51	232
	40～44歳	673	59	38	247	56	36	237
	45～49歳	620	39	37	241	38	35	230
	50～54歳	594	26	60	218	25	57	208
	55～59歳	679	22	112	213	22	107	203

6. 回答者の属性

(1) 性別

回答者の男女比は男性が50.0%であり、女性が50.0%となっている(図1)。

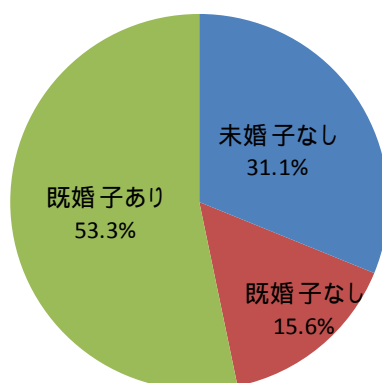
図1 回答者の男女比(n=10,000)



(2) 家族構成

回答者のライフステージは、未婚子なしが31.1%、既婚子なしが15.6%、既婚子ありが53.3%となっている。(図2)。

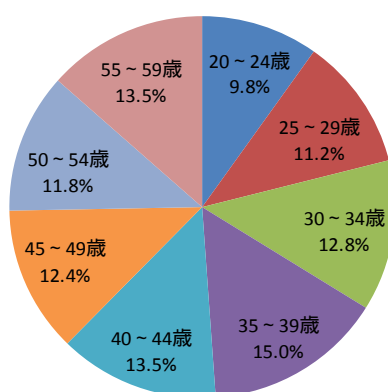
図2 回答者の家族構成(n=10,000)



(3) 年齢

回答者の年齢は20-24歳が9.8%、25-29歳が11.2%、30-34歳が12.8%、35-39歳が15.0%、40-44歳が13.5%、45-49歳が12.4%、50-54歳が11.8%、55-59歳が13.5%となっている(図3)。

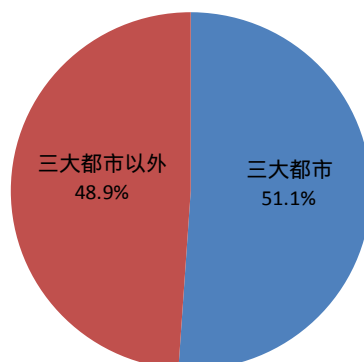
図3 回答者の年齢(n=10,000)



(4) 居住地域

回答者の地域について三大都市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)と三大都市外(前記以外の道県)に分けて集計を行った(図4)。

図4 回答者の地域(n=10,000)



7. 分析の方針

分析にあたっては、家族構成を重視した分析を行った。主となる軸として、家族構成をもとにしたライフステージを設け、そのうち、「既婚・子あり」については子どもの年齢を重視し、末子の年齢でステージを区切り集計した。さらに、保育関連の施策やワーク・ライフ・バランスの施策については、それぞれの施策の主な対象者に焦点をあて、詳しい分析を行った。

なお、サンプル数が50未満のものについては十分なサンプルが確保できていないため、参考値とした。さらにサンプル数が10未満のものについてはクロスの軸には掲載していない。

(1) 総数：10,000 サンプル

- ・ライフステージ別、性別・年代別にみた時、十分に足りうるサンプルを確保するために総数を10,000サンプルに設定。
- ・平成17年国勢調査及び平成22年国勢調査から性別、年代別、家族構成別、地域別で構成比を算出し、総数28,859サンプルから無作為に抽出。

(2) ライフステージ

家族構成別「未婚・子なし」「既婚・子なし」「既婚・子あり」をさらに細分化し集計した。

「未婚・子なし」「既婚・子なし」については、「40歳未満」「40歳以上」の2区分で区切り、「既婚・子あり」については、末子年齢と学校形態別に「3歳未満」「3歳～未就学児」「小学校1年～3年」「小学校4年～6年」「中学校」「高校」「短大・専門学校・高専」「四年制大学・大学院」「学校教育は終了している」「その他」の10区分において区切りをつけた。

尚、「その他」についてはグラフの表記から省略している。

表1 回答者のライフステージ別人数

未婚 子なし	40歳未満	2,423	3,114
	40歳以上	691	
既婚 子なし	40歳未満	624	1,560
	40歳以上	936	
既婚 子あり	末子 3歳未満	1,011	5,326
	末子 3歳～未就学児	831	
	末子 小学校1年～3年	517	
	末子 小学校4年～6年	545	
	末子 中学校	518	
	末子 高校	469	
	末子 短大・専門学校・高専	74	
	末子 四年制大学・大学院	366	
	末子 学校教育は終了している	915	
	末子 その他	80	
全体		10,000	

図5 回答者のライフステージ(n=10,000)

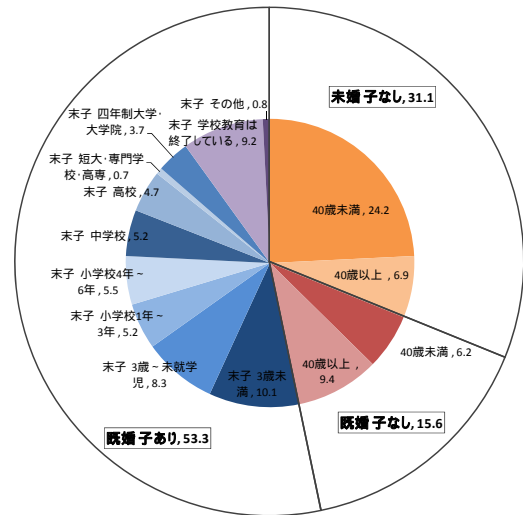
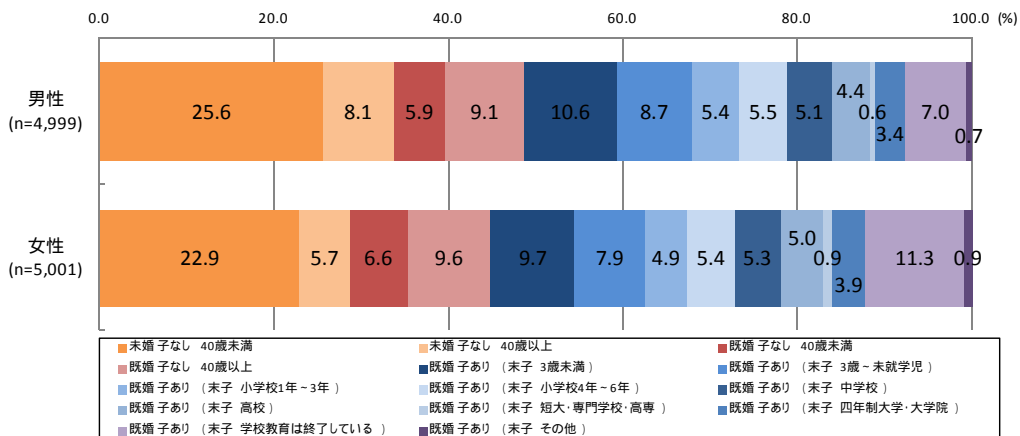


図6 性別とライフステージのクロス集計



(3) 各施策のターゲットの設定

保育関連の施策やワーク・ライフ・バランスの施策については、それぞれの施策の主な対象者に焦点を当て、詳しい分析を行う。クロス集計において、「その他」等対照が困難なものはグラフの表記から省略し、また、設問に応じ項目を集計したものをを用いて分析を行っている。

尚、クロス集計においてn数が10サンプル未満については、グラフの表記から省略している。

ア. 保育利用状況別

未就学の子どもがいる回答者が利用している保育利用状況別でみることにより、保育関連の施策についての現状と改善点等をより詳しく分析する。数値については、最大4人目までの子どもの保育形態をそれぞれ回答したものの延べ数となる。

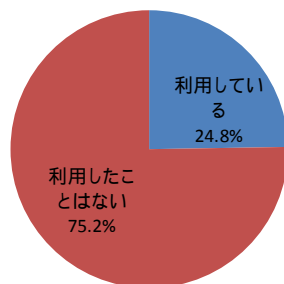
この分析は、保育の利用状況に着目しており、例えば回答者あたり複数の子どもがおり、複数の保育を利用している場合は、それぞれの利用状況としてカウントされる。すなわち、1人の回答者について2人の子どもがおり、1人が幼稚園、1人が保育所を利用している場合は2サンプルとしてカウントされている点に留意が必要である。ただし、認定こども園の利用は25であり、サンプル数が少ないため、結果については参考値としてとどめるべきである。

また、「学童保育」について、小学校の子を持つ人に利用の有無の別からも集計した。

表2 回答者の保育利用状況

保育所(認可保育所・認証保育所)	539
その他の保育サービス (保育ママ・ベビーシッター・認可外保育施設(事業所内保育施設、ベビーホテル等))	55
幼稚園	646
認定子ども園	25
全体(n)	1,265

図7 小学校の子を持つ回答者の学童保育の利用の有無(n=1,624)



イ. 就業形態別

回答者の就業形態は図 13、図 14 のとおりであるが、設問に応じ項目を集計した属性を用いて分析を行う。

図 8 回答者の就業形態と契約形態 (n=10,000)

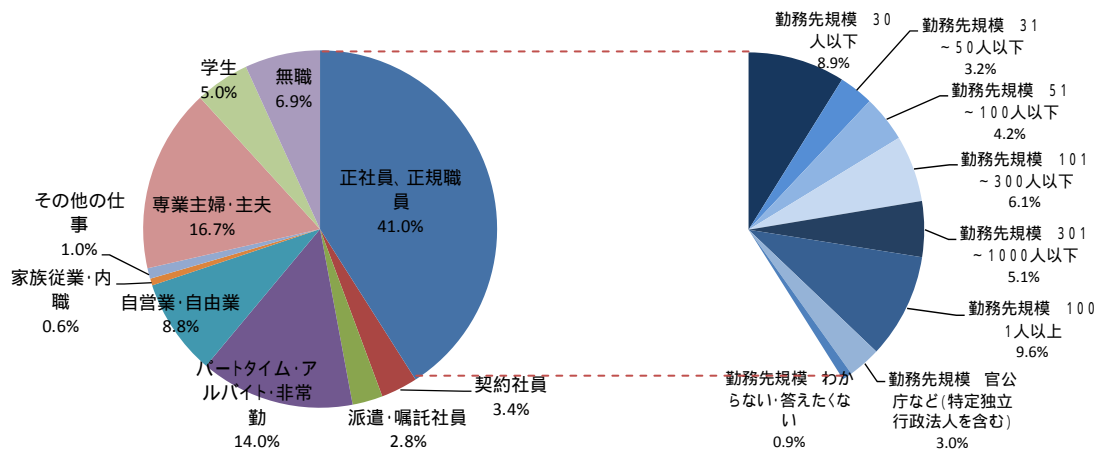
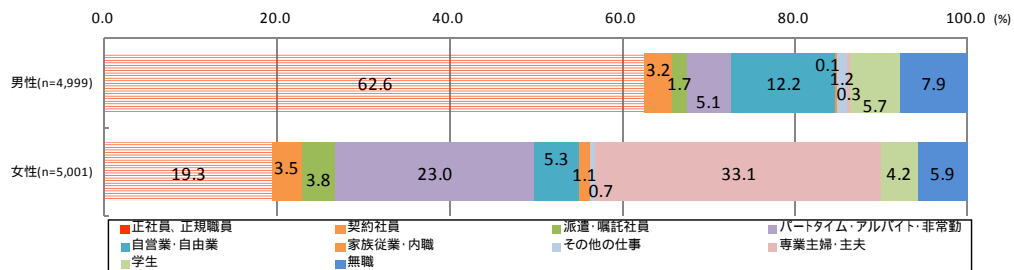


図 9 性別と就業形態のクロス集計



ウ. 世帯の就業状況

結婚している（事実婚含む）回答者の世帯の就業状況を「共働き」「専業主婦世帯」「専業主夫世帯」「夫婦とも就業していない世帯」「その他」で分け、配偶者と離別・死別した子どもを持つ回答者の世帯を「父子家庭」「母子家庭」に分け、子育ての状況、ワーク・ライフ・バランス状況を詳しく分析する。

尚、「その他」についてはグラフの表記から省略している。

図 10 回答者の世帯の就業状況 (n=6, 676)

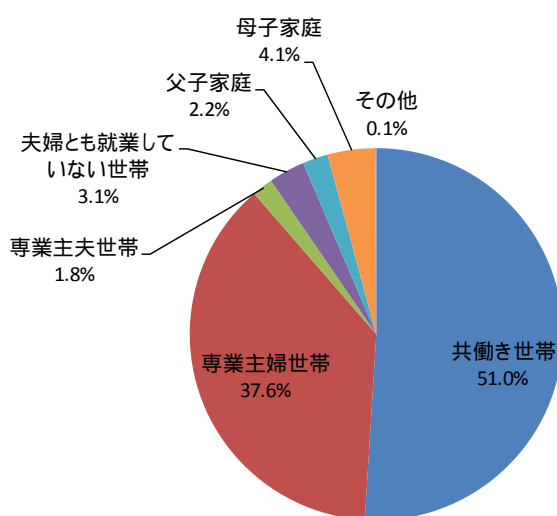
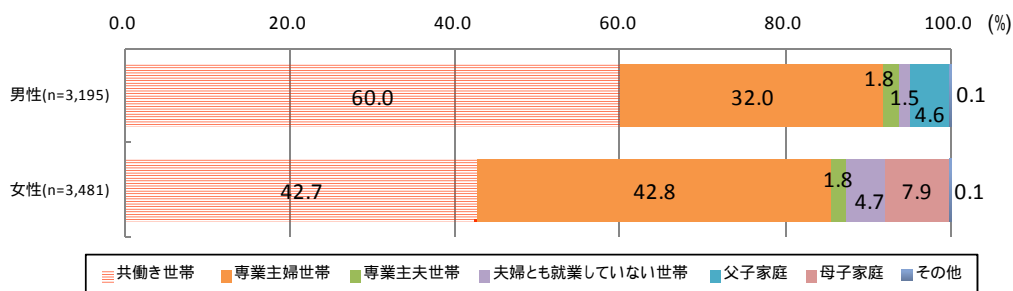


図 11 性別と世帯の就業状況のクロス集計

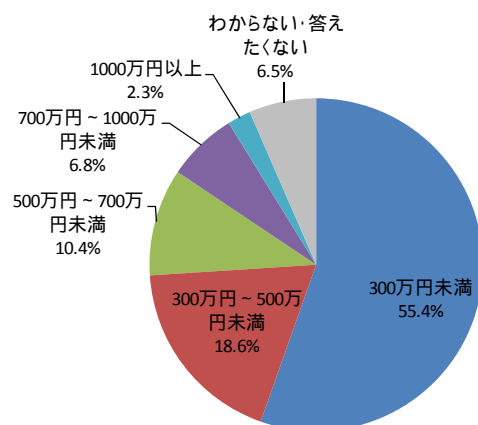


エ. 年収別

回答者の年収から、子を持つこと、子育てにおける経済的負担の意識を分析する。

なお、「わからない・答えたくない」はグラフの表記から省略している。

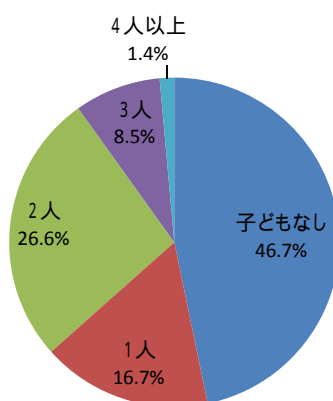
図 12 回答者の年収 (n=10,000)



オ. 子どもの数別

子どもの数から、子を持つこと、子育てにおける経済的負担の意識、保育状況を分析する。

図 13 回答者の子どもの数 (n=10,000)



カ. 労働時間（週）別

就業している回答者の一週間の労働時間から、ワーク・ライフ・バランスの状況を分析する。

図 14 回答者の労働時間（週）（n=7,147）

